

みずほCustomer Desk Report 2024/12/12 号(As of 2024/12/11)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	151.83	1.0532	159.82	1.2781	0.6376
SYD-NY High	152.84	1.0539	160.67	1.2781	0.6389
SYD-NY Low	151.01	1.0480	158.69	1.2716	0.6337
NY 5:00 PM	152.46	1.0496	160.07	1.2751	0.6369

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,148.56	▲ 99.27	日本2年債	0.5900%	0.0100%
NASDAQ	20,034.89	347.65	日本10年債	1.0600%	0.0000%
S&P	6,084.19	49.28	米国2年債	4.1553%	0.0103%
日経平均	39,372.23	4.65	米国5年債	4.1379%	0.0404%
TOPIX	2,749.31	7.90	米国10年債	4.2740%	0.0467%
シカゴ日経先物	40,070.00	750.00	独10年債	2.1305%	0.0145%
ロンドンFT	8,301.62	21.26	英10年債	4.3180%	▲0.0040%
DAX	20,399.16	70.00	豪10年債	4.2040%	▲0.0150%
ハンセン指数	20,155.05	▲ 156.23	USDJPY 1M Vol	10.22%	▲0.46%
上海総合	3,432.49	9.83	USDJPY 3M Vol	10.38%	▲0.27%
NY金	2,756.70	38.30	USDJPY 6M Vol	10.21%	▲0.10%
WTI	70.29	1.70	USDJPY 1M 25RR	▲1.25%	Yen Call Over
CRB指数	293.68	3.21	EURJPY 3M Vol	10.51%	▲0.02%
ドルインデックス	106.71	0.31	EURJPY 6M Vol	10.35%	▲0.04%

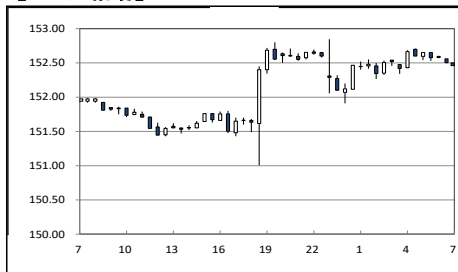
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月11日	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	11月 0.3%/2.7%	0.3%/2.7%

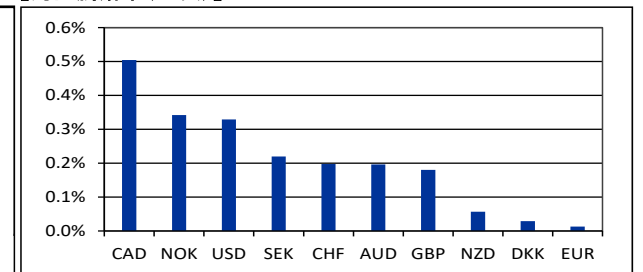
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月12日	09:30	豪 雇用者数変化	11月 25.0k	15.9k
	09:30	豪 失業率	11月 4.2%	4.1%
	22:15	欧 ECB預金ファシリティ・レート	12-Dec 3.0%	3.25%
	22:15	欧 ECB主要政策金利	12-Dec 3.15%	3.40%
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	11月 0.2%/2.6%	0.2%/2.4%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	7-Dec 220k	224k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.00-153.00	1.0480-1.0540	159.50-161.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は海外時間にかけて上昇。アジア時間は151円台半ばから151円台後半のレンジでもみ合い推移となったが、欧州時間に入り、日本銀行当局者は追加利上げを急ぐ状況にはないと認識していると、ブルームバーグが報じたことを受けて円売りで反応し、152円台後半まで急上昇。その後注目された米11月CPIはおおむね市場予想と一致する結果となったが、今月のFOMCでの利下げ観測が高まったことで、インシャルの反応としてはドル売り優勢となり、一時152円を割り込んだ。しかし米金利が長期・超長期ゾーン中心に上昇に転じる中でドル円も152円台半ばまで戻している。本日はECB理事会及び、米国では11月PPIやインシャルクレームの公表が予定されているが、ECB理事会では25bpの利下げがほぼ確実視されており、来週の日米金融政策会合に向けてドル円は様子見ムードが強まりやすいと思われる。テクニカル面では、昨日200日移動平均が位置する152円付近を明確に上抜けており、152円程度を下限に底堅い展開を想定している。

東京	東京時間のドル円は151.83レベルでオープン。NY時間に米11月CPIを控え、昨日の上昇に対する調整か、午前中は下落基調で151.43をつける。午後後レンジ内の推移に留まり、151.67レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は151.67レベルで始まった。一部報道機関が関係筋のコメントとして「日銀は追加利上げ見送りでも物価加速リスクは大きくないと認識している」「一部の政策委員は12月会合で利上げが提案された場合反対しない見通し」と報道した事でドル円は大きく動いた。安値151.01へ一時下落した後、152.80まで買い戻された。午後に発表される米11月CPIを待ちながら152.65レベルでニューヨークへ渡った。明日のECB理事会の主要政策金利発表を控え、本日のユーロドルは比較的静かな取引となり1.0526レベルで始まり、1.0487から1.0528の間で取引された。1.0503レベルでニューヨークへ渡った。尚、市場の一部は25bpの利下げを織り込んでいる。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円台後半でスタート。「日銀当局者は追加利上げを急ぐ状況にはないと認識している」との一部報道を受け、今月の金融政策決定会合での利上げ観測が後退した思惑を背景に152.80まで円が売られ、その後152.65レベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米11月コアCPI(前月比)が予想以上に加速しなかった事を受け、今月のFOMCでの利下げ観測が強まり、米金利の低下と共に151.91まで売られる。その後は売り一巡となり、152.40付近まで戻す。午後に発表された米10年債の入札結果は堅調な結果となるも、ドル円への影響は限定的。その後も買い戻しの流れが続き、152.71まで上値を伸ばす。その後は小幅反落し、152.46レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.05台前半でスタート。独政治局面の先行き不安を懸念した売りが優勢となり、一時1.0488まで下落。その後は小幅反発し、1.0503レベルでNYオープン。午前中は注目の米11月CPIが予想程加速しなかった事を受け、ドル売りが優勢の中、1.0537まで上昇。しかし、その後は伸び悩み、1.0480まで反落。午後は1.0490付近を挟んだ推移が続き、1.0496レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。